

(別紙様式4)

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和3年7月31日※1
(前公表年月日:令和2年7月31日)

職業実践専門課程の基本情報について

| 学校名 | 設置認可年月日 | 校長名 | 所在地 | | | | |
|----------------|---|-----------------------|--|--|---|----|----|
| 東洋医療専門学校 | 平成12年3月31日 | 太田 宗夫 | 〒532-0004 大阪府大阪市淀川区西宮原1-5-35 (電話) 06-6398-2255 | | | | |
| 設置者名 | 設立認可年月日 | 代表者名 | 所在地 | | | | |
| 学校法人大阪滋慶学園 | 昭和62年3月31日 | 浮舟 邦彦 | 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原1-2-43 (電話) 06-6150-1301 | | | | |
| 分野 | 認定課程名 | 認定学科名 | | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 医療 | 医療専門課程 | 鍼灸師学科 | | 平成6年文部科学省 告示第84号 | — | | |
| 学科の目的 | はり師きゆう師の役割はますます多様化しており、活躍のフィールドを広げつつあります。本校のカリキュラムはできる限り幅広い知識・技術・情報に触れる機会を提供できるように組まれており、数多くの選択肢の中から卒業後の進路やスタイルを選ぶことができるようになっています。また、就職・開業の双方において必要であった実践力を身につけられる指導を受けることができます。 昼間部・夜間部3年制の専門性の高い指導のもと、多様化に対応できる幅広いスタイルを持ち、社会人としての人格・職業人としての職業観を持った人間性豊かな鍼灸師の養成を目指します。 | | | | | | |
| 認定年月日 | 平成26年3月31日 | | | | | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 3年 | 夜間 | 2656時間 | 1828時間 | | 828時間 | | |
| 生徒総定員 | 生徒定員 | 留学生数(生徒定員の内数) | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | |
| 90人 | 98人 | 0人 | 8人 | 53人 | 61人 | | |
| 学期制度 | ■1学期:4月1日～8月31日 ■2学期:9月1日～12月31日 ■3学期:1月1日～3月31日 | 成績評価 | | ■成績表:.....有 ■成績評価の基準・方法 100点満点、60点以上合格 | | | |
| 長期休み | ■学年始め:4月1日 ■夏季:7月21日～8月31日 ■冬季:12月21日～1月10日 ■学年末:3月31日 | 卒業・進級条件 | | 学年を通じて所定の授業時間数の4分の3以上出席し、各教科の期末試験および模擬試験で、100点満点中60点以上の合格点を取ったもの。 | | | |
| 学修支援等 | ■クラス担任制:.....有 ■個別相談・指導等の対応 個人面談、保護者面談を経て補習を行う | 課外活動 | | ■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 トレーナー活動参加など ■サークル活動:.....有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報) | | | |
| 就職等の状況※2 | ■主な就職先・業界等(令和2年度卒業生) 鍼灸院・接骨院・美容・福祉・スポーツ ■就職指導内容 キャリアセンターによる、社会人基礎力講座を開講 ■卒業生数:.....27.....人 ■就職希望者数:.....20.....人 ■就職者数:.....20.....人 ■就職率:.....100.....% ■卒業生に占める就職者の割合 :.....74.1.....% ■その他 ・進学者数:.....1人 ・一時的な仕事についた者:.....6名 ・上記以外の者:.....0名 (令和2年度卒業生に関する 令和3年5月1日時点の横欄) | | 主な学修成果 (資格・検定等)※3 | | 資格・検定名 種別 受験者数 合格者数 はり師 ② 27人 25人 きゆう師 ② 27人 26人 ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等 | | |
| 中途退学の現状 | ■中途退学者 5名 ■中途退率 5.3% 令和2年4月1日時点において、在学者94名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者89名(令和3年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 (例)学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等 学力不振・経済的理由・進路変更など ■中退防止・中退者支援のための取組 (例)カウンセリング・再入学・転科の実施等 導入教育の充実、個人面談、三者面談の実施など | | | | | | |
| 経済的支援制度 | ■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 無 ※有の場合、制度内容を記入 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 前年度給付実績者数 14名 | | | | | | |
| 第三者による学校評価 | ■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL) | | | | | | |
| 当該学科のホームページURL | https://www.toyoinryu.ac.jp/gakka/amt/ | | | | | | |

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業生に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者であり、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まれません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業生に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業生に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

学校法人新歯会東洋医療学園が設置する東洋医療専門学校教育課程の編成における基本方針は、企業・業界団体等の意見を活かし、必要となる最新の知識、技術を反映させることが重要であり、今後さらなる連携体制を構築していかなければならないと考えている。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

東洋医療専門学校教育課程編成委員会規程第2条に明記されているように教育課程編成委員会は、法人の最高意思決定機関である法人理事会の直下に置かれている。組織図参照同規程第3条及び第4条のとおり理事長が事務局委員長となりその他の構成メンバーは法人理事会により承認される。具体的には学校の各セクションの責任者と、専門分野に関する企業の役職員など広く選任されている。教育課程編成委員会で得た企業等の意見や要望は学科内で要約されカリキュラムへの反映を事業計画発表会で共有し次年度事業計画に盛り込まれる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

| 令和3年7月31日現在 | | | | |
|-------------|--------------------------|------------------------|----------|----|
| 名前 | 所属 | 任期 | 学科 | 種別 |
| 富永 礼子 | 一般社団法人鍼灸保険協会大阪 代表理事 | 令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年) | 鍼灸師学科 | ① |
| 川畑 成希 | はりもぐ鍼灸院 院長 | 令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年) | 鍼灸師学科昼間部 | ③ |
| 酒井 美登子 | はり・きゅう・小児はり・漢方薬相談おひさま 院長 | 令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年) | 鍼灸師学科夜間部 | ③ |
| 【学内担当者】 | | | | |
| 真田 浩二 | 鍼灸師学科 学科長 | | | |
| 松本 葉 | 鍼灸師学科 専任教員 | | | |

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

教育課程編成委員会は年2回開催される。また前期後期の授業開始前に時期には、実習指導を行う企業からの講師との意見交換や、情報共有の機会として講師会議を開催している。

(開催日時)

- 第1回 令和3年7月4日 10:00～12:00
第2回 令和3年12月5日 10:00～12:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

本年度は「応用教育・卒業教育における取り組みの再構築」を重点項目として話し合った。企業委員からの意見を反映した重点目標は以下となり、次年度事業計画中に実行していく。

- 学生アンケートの外部講師への公表(希望をとる)、年2回の実施
- 治療院の患者層は保護者を巻き込む
- 学生の社会認知度が低いと、社会情勢への間隔を研ぎ澄ます
- 臨床で使える治療法や解剖整理の知識など、卒業後も使えるオリジナル冊子の作成
- 遠隔でも良いので卒業生に現況報告できる場所の設置

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

日々進化する医療業界では、新しい技術や新しい知識の習得が重要である。企業と連携した実習・演習を通じ、最先端の技術・知識習得を目的としている。また、技術・知識だけでなく目指す業界の方々と接することにより学習意欲就業意欲向上を目指している。

実習・演習等で学んだ知識・技術が将来における臨床現場で活用され、理論と実践を結びつけて理解できる能力を養うとともに、実社会におけるルール等を肌で感じ職業観・勤労観を育成するとともに、自らの適性を見つめながら具体的な将来像を描き、社会人としての総合的な人間力を高めることを基本方針としている。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

学外では実習指導要領に基づいて、企業と実習履修内容の詳細打ち合わせを事前に実施し、学内での事前オリエンテーションでは考え方・行動・姿勢を十分説明し、企業および担当者にも失礼の無いよう指導する。この実習期間中は企業担当者と担当教員で問題点の有無を相談し、問題点が発生すれば対応を行う。学内の演習においては業界が求める人材に必要な到達度について企業と事前に授業内容の打ち合わせを行った上で授業計画を立案し、それに基づいた演習の実施・及び評価を行う。

(3)具体的な連携の例

| 科目名 | 科目概要 | 連携企業等 |
|----------|---|-----------------------|
| 保健体育 | スポーツマッサージ、スポーツ傷害の発生・予防法などを学ぶ。 | 有限会社浅田コーポレーション/アサダ接骨院 |
| はりきゅう実技② | 鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師として最も基本となる技術や施術法を習得する。 | 村田鍼灸整骨院 |
| はりきゅう実技⑤ | 鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師として最も基本となる技術や施術法を習得する。 | 清藤鍼灸院 |
| はりきゅう実技⑧ | 鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師として最も基本となる技術や施術法を習得する。 | たかぎ齋能(ゆのう)鍼灸院 |
| はりきゅう実技⑨ | 鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師として最も基本となる技術や施術法を習得する。 | 杏林会鍼灸整骨院 |

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

教員の授業内容・方法及びクラス運営方法を改善し向上させるとともに、マネジメント能力を含む指導力の習得、資質・能力の向上を研修の基本方針としている。

教職員研修規程に基づき、担任マニュアル・教職員研修マニュアル・講師マニュアルに則り研修を実施している。具体的には、業界で求められる最新の知識・技術を習得するため業界が主催する学会への参加、大阪府専修学校各種学校連合会の主催する教員研修に積極的に参加している。

滋慶学園グループ内では教育の質的向上を目指すために独自の研究機関として滋慶教育科学研究所を設置し、教育システムの構築・教育ノウハウの蓄積を行っている。また専門分野に分かれた委員会が設置されており、より教育の質向上に向けた研修が行われている。その他としては、学生指導に関わる人・カリキュラム・教材・環境に関する各委員会による研修も行っている。毎年度研修計画を事業計画で立案し、教職員のキャリアや専門分野に沿った内容の研修をピックアップし、計画的に研修に参加させている。

(2)研修等の実績 (令和2年4月～令和3年3月)

①専攻分野における実務に関する研修等

| | | |
|-----|--|--------------------------------------|
| 1 | 日時 | 令和2年9月11日(金) |
| | 場所 | 京都府 国立京都国際会館 |
| | 出席者 | 真田 浩二 松本 栞 篠塚 知恵子 |
| | 研修名 | 第69回(公社)全日本鍼灸学会学術大会(京都大会)【コロナ禍により中止】 |
| | 内容 | 未来の鍼灸を想像する |
| 2 | 日時 | 令和2年10月17日(土)～10月18日(日) |
| | 場所 | 大阪府・森ノ宮医療学園専門学校 アネックス校舎 |
| | 出席者 | 山口 隆平 高木 健之 |
| | 研修名 | 第72回日本良導絡自律神経学会学術大会【コロナ禍により中止】 |
| 内容 | 箴(しん)は鍼(しん)なり、心(こころ)の鍼(はり)なり―学と術と心身応答― | |
| 3 | 日時 | 令和2年11月7日(土)～11月8日(日) |
| | 場所 | 愛知県・名古屋国際会議場白鳥ホール |
| | 出席者 | 後藤 卓 藤田 和樹 |
| 研修名 | 第35回経絡治療学会学術大会 名古屋大会【コロナ禍により中止】 | |
| 内容 | 鍼灸経絡治療の飛躍 | |
| 4 | 日時 | 令和2年12月5日(土)～12月6日(日) |
| | 場所 | 東京都・帝京平成大学沖永記念ホール・教室 |
| | 出席者 | 山口 隆平 藤田 和樹 藤原 法香 |
| | 研修名 | 第16回日本鍼灸師会全国大会 in 東京【コロナ禍により中止】 |
| 内容 | 変わる社会、変わらぬ鍼灸 ～いまできることをかんがえる～ | |
| 5 | 日時 | |
| | 場所 | |
| | 出席者 | |
| | 研修名 | |
| | 内容 | |

②指導力の修得・向上のための研修等

| | | |
|----|----------------|--|
| 1 | 日時 | 令和2年9月18日(金) |
| | 場所 | オンライン |
| | 出席者 | 松本 栞 藤原 法香 高木 健之 児子 美裕 |
| | 研修名 | JESC学会発表勉強会 |
| | 内容 | 学会研究の進め方 |
| 2 | 日時 | 令和2年9月30日(水) |
| | 場所 | オンライン |
| | 出席者 | 孫 杰 篠塚 知恵子 藤原 法香 高木 健之 児子 美裕 |
| | 研修名 | キャリアサポートアンケートビギナー研修会 |
| 内容 | CSAの使用方法 | |
| 3 | 日時 | 令和2年10月28日(水) |
| | 場所 | オンライン |
| | 出席者 | 高木 健之 |
| | 研修名 | FDマイクロレベルフォローアップ研修 |
| 内容 | 授業リフレクション | |
| 4 | 日時 | 令和2年11月10日(火)～11月11日(水) |
| | 場所 | オンライン |
| | 出席者 | 藤原 法香(二次) 高木 健之(一次) |
| | 研修名 | カウンセリング研修 |
| 内容 | カウンセリング技法 事例検討 | |
| 5 | 日時 | 令和2年11月18日(水) |
| | 場所 | オンライン |
| | 出席者 | 藤原 法香 |
| | 研修名 | フォローアップ研修 |
| | 内容 | グループ理念・行動規範を振り返り、組織人としてのアイデンティティを確立する。 |

(3) 研修等の計画 (令和3年4月～令和4年3月)

① 専攻分野における実務に関する研修等

| | | |
|---|-----|------------------------------|
| 1 | 日時 | 令和3年6月4日(金)～6月6日(日) |
| | 場所 | オンライン |
| | 出席者 | 山口 隆平 |
| | 研修名 | 第70回 (公社)全日本鍼灸学会学術大会 福岡大会 |
| | 内容 | 健康・医療のブレークスルーと鍼灸 |
| 2 | 日時 | 令和3年8月13日(金)～8月15日(日) |
| | 場所 | 宮城県・仙台国際センター |
| | 出席者 | 後藤 卓 藤原 法香 |
| | 研修名 | 第71回日本東洋医学会学術総会 |
| 3 | 日時 | 令和3年10月24日(日)～10月25日(月) |
| | 場所 | 東京都・としま区民センター |
| | 出席者 | 山口 隆平 藤田 和樹 |
| | 研修名 | (公社)日本鍼灸師会第16回 全国大会 in 東京 |
| | 内容 | 変わる社会、変わらぬ鍼灸 ～いまできることをかんがえる～ |
| 4 | 日時 | 令和3年11月13日(土)～11月14日(日) |
| | 場所 | 沖縄県・沖縄コンベンションセンター |
| | 出席者 | 真田 浩二 松本 栞 |
| | 研修名 | 第49回日本伝統鍼灸学会学術大会 沖縄大会 |
| 5 | 日時 | 令和3年11月27日(土)～11月28日(日) |
| | 場所 | 京都府・京都教育文化センター |
| | 出席者 | 篠塚 知恵子 高木 健之 |
| | 研修名 | 日本鍼灸史学会 第28回学術大会 |
| | 内容 | 経絡治療に関するシンポジウム |

② 指導力の修得・向上のための研修等

| | | |
|---|-----|-----------------------|
| 1 | 日時 | 令和3年6月14日(月)～6月15日(火) |
| | 場所 | オンライン |
| | 出席者 | 真田 浩二 |
| | 研修名 | マネジメント基礎研修 |
| | 内容 | マネジメントの基礎について |
| 2 | 日時 | 令和3年7月6日(火) |
| | 場所 | オンライン |
| | 出席者 | 山口 隆平 |
| | 研修名 | 学科長対象FDマイクロレベル研修 |
| 3 | 日時 | 令和3年7月16日(金) |
| | 場所 | オンライン |
| | 出席者 | 後藤 卓 松本 栞 藤田 和樹 |
| | 研修名 | CSAビギナー研修 |
| | 内容 | CSA使用方法 |
| 4 | 日時 | 令和3年7月20日(火) |
| | 場所 | オンライン |
| | 出席者 | 高木 健之 |
| | 研修名 | FDマイクロレベルアップ研修 |
| 5 | 日時 | 令和3年10月26日(火) |
| | 場所 | オンライン |
| | 出席者 | 高木 健之 児子 美裕 |
| | 研修名 | カウンセリング研修2次 |
| | 内容 | カウンセリング技法 事例検討 |

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

自己点検・評価結果について学校職員以外の関係者による評価を行うため、各校に学校関係者評価委員会を置き、自己点検・評価結果の客観性・透明性を高め、学校の利害関係者の学校運営への理解促進や連携協力による学校運営の改善を目的とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの評価項目 | 学校が設定する評価項目 |
|----------------|---|
| (1) 教育理念・目標 | ・理念・目的・育成人材像は定められているか・学校の特色は何か・学校の将来構想を抱いているか |
| (2) 学校運営 | ・運営方針は定められているか・事業計画は定められているか・運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか・人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか・意思決定システムは確立されているか・情報システム化等による業務の効率化が図られているか |
| (3) 教育活動 | ・各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか・修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか・カリキュラムは体系的に編成されているか・学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか |
| (4) 学修成果 | ・キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか・授業評価の実施・評価体制はあるか・育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか・教員の専門性を向上させる研修を行っているか・成績評価・単位認定の基準は明確になっているか・資格取得の指導体制はあるか |
| (5) 学生支援 | ・就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか・資格取得率の向上が図られているか・退学率の低減が図られているか・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか |
| (6) 教育環境 | ・就職に関する体制は整備されているか・学生相談に関する体制は整備されているか・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか・学生の健康管理を担う組織体制はあるか・課外活動に対する支援体制は整備されているか・学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか・保護者と適切に連携しているか・卒業生への支援体制はあるか・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか・学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか・防災に対する体制は整備されているか |
| (7) 学生の受入れ募集 | ・学生募集活動は、適正に行われているか・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか・入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか・学納金は妥当なものとなっているか |
| (8) 財務 | ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか・財務について会計監査が適正に行われているか・財務情報公開の体制整備はできているか |
| (9) 法令等の遵守 | ・法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか・自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか・自己点検・自己評価結果を公開しているか |
| (10) 社会貢献・地域貢献 | ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか |
| (11) 国際交流 | ・グローバル人材の育成に向けた国際交流などの取り組みを行っているか |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

R3年7月4日 学校関係者評価委員会議事録から抜粋

| 内容 | 学校関係者評価委員からの意見 | 活用方法 |
|---------|--|--|
| 学校全体 | <p>■教育成果 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか</p> <p>【企業・歯科技工】 この学校の卒業生を採用したいという思いと、学生がここで働きたいというマッチングが重要。企業側に求めるものなどを教えてほしい。</p> <p>【卒業生・救急】 救急救命士法の改正を踏まえ、院内救命士育成に向けた教育内容も充実させるべきと考えます。</p> <p>【企業・鍼灸】 なるべく留年させず、国家試験全員合格、全員専門職に就職させたことは素晴らしいです。</p> <p>【企業・柔整】 欠勤する際、退職する際のマナーなど、そういった点も理解させてほしい</p> <p>【高等学校】 コロナ禍で大変でしょうが学生のために引き続き頑張ってください。</p> | <p>■教育成果 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか</p> <p>・業界訪問、オンラインでの業界面談を行い、情報交換、求人とのマッチング向上に努める</p> <p>・看護師資格を持つ教員を中心に、病院内で求められる救急救命士の育成に向けた実践的教育カリキュラムを構築していく。</p> <p>・担任面談を中心に就職先の希望調査を行う。また段階的に就職ガイダンスや就活セミナーを実施し、就職先の理解や意欲を深めていく。</p> <p>・社人直前講座を実施し、業界の人事担当者より新入社員にとって求められる知識(電話対応、受付マナー、名刺の渡し方、上座下座の理解など)について学ぶ。</p> <p>コロナ禍により対面では実施が困難なイベントはオンラインで実施する</p> |
| 鍼灸師学科教育 | <p>■教育成果 授業評価の実施・評価体制はあるか</p> <p>学生アンケートの回数を増やし、成長や変化をさらに把握してほしい。それを外部講師にも情報共有してほしい</p> <p>学校全体だけでなく、学科独自のも合わせて年2回程度ほしい。</p> <p>コロナの影響を受けた学生の心理を知るためにさらに向き合ってください</p> | <p>■教育成果 授業評価の実施・評価体制はあるか</p> <p>学生アンケートを学科独自のを追加し、年2回おこなう</p> <p>外部講師にも情報共有の機会を図り、理解度が低い授業については改善いただくよう働きかけていく</p> <p>保護者への遠隔授業参観など、オープンな授業スタイルで保護者</p> |

学校関係者評価委員より得た意見については、運営会議・全体会議などにおいて学校全体で共有される。

・カリキュラムや指導方法への要望 → 学科ミーティングで改善策を協議し実行している。

・学校運営などへの要望 → 事業計画書に反映。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年7月31日

| 名前 | 所属 | 任期 | 種別 |
|--------|-------------------------------|------------------------|--------------|
| 小原 雅生 | 一般社団法人大阪府歯科技工士会南大阪支部 相談役 | 令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年) | 保護者 |
| 渡辺 真季 | 海南市消防本部 予防係長 | 令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年) | 卒業生 |
| 川畑 成希 | はりもぐ鍼灸院 院長 | 令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年) | 卒業生 |
| 布田 久登 | ぬの整骨院 院長 | 令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年) | 卒業生 |
| 小早川 真一 | 大阪府立寝屋川高等学校定時制 准校長 | 令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年) | 高等学校 |
| 田中 利哉 | 有限会社 Zahn 代表 | 令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年) | 企業等(歯科技工士学科) |
| 越智 章 | 株式会社 サクラ歯研 代表 | 令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年) | 企業等(歯科技工士学科) |
| 正井 潔 | NPO法人 日本国際救急救助技術支援会 名誉理事長 | 令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年) | 企業等(救急救命士学科) |
| 深野 明美 | 岸和田徳洲会病院 看護部長 | 令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年) | 企業等(救急救命士学科) |
| 富永 礼子 | 一般社団法人鍼灸保険協会大阪 代表理事 | 令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年) | 企業等(鍼灸師学科) |
| 酒井 美登子 | はり・きゅう・小児はり・漢方薬相談おひさま 院長 | 令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年) | 企業等(鍼灸師学科) |
| 徳山 健司 | 公益社団法人大阪府柔道整復師会 会長 | 令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年) | 企業等(柔道整復師学科) |
| 小澤 庸宏 | 株式会社 小澤企画 代表取締役 デイサービスさずな 管理者 | 令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年) | 企業等(柔道整復師学科) |
| 中村 義毅 | 中村鍼灸接骨院 院長 | 令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年) | 企業等(柔道整復師学科) |

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

公表方法→ホームページ

公開時期→9月に更新

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校が保有する情報の公開及び開示に関し、学校が必要な事項を定め、当該情報を積極的に公開することにより、教育活動や取り組みについて広く社会に対する説明責任を果たすとともに、公正で透明性の高い運営を推進し、教育活動の改善や社会全体からの信頼の獲得に資することを基本方針とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの項目 | 学校が設定する項目 |
|-------------------|---|
| (1)学校の概要、目標及び計画 | 学校長名、所在地、連絡先、沿革、学校の特徴(教育活動、カリキュラム) 教育目標、教育指導方針 |
| (2)各学科等の教育 | 定員数、入学者数、在校生数、カリキュラム(科目編成、授業時間数)、進級・卒業の要件(成績評価基準、卒業の認定基準)、目指す資格・検定等、資格取得等の実績、卒業生数、卒業後の進路(進学者数、主な就職先、就職者数) |
| (3)教職員 | 教職員数(職名別)、教職員の組織・活動(教職員の研修・研究活動) |
| (4)キャリア教育・実践的職業教育 | キャリア教育への取り組み状況、就職支援への取組状況 |
| (5)様々な教育活動・教育環境 | 学校行事への取組状況、部活動・放課後活動・生徒会活動等の状況、家庭・地域・企業等との連携による取り組み、他の学校との連携による取り組み等の状況 |
| (6)学生の生活支援 | 学生の生活指導への取組状況(指導上の諸問題(中途退学、不登校など)の状況及びそれに対する学校の対処や指導の状況、心のケアの体制整備等に関する状況、留学生支援や障がい者支援も含め学校が取り組む様々な学生支援) |
| (7)学生納付金・修学支援 | 学生納付金の取り扱い(金額や納入時期等)、活用できる経済的就学支援措置の内容(授業料減免措置、奨学金等の案内) |
| (8)学校の財務 | 財務諸表 |
| (9)学校評価 | 自己評価・学校関係者評価の結果、評価結果を踏まえた改善方策 |
| (10)国際連携の状況 | 外国の学校等との交流状況(教員・学生間交流や単位互換等に関する実績) |
| (11)その他 | 学則 |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

| | |
|--------|---|
| 方法 | ホームページにて情報提供をおこなっている |
| URL | https://www.tovoiryo.ac.jp/gakko/jyuhou/ |
| バナーの場所 | 本校HPのトップページ右上に「情報提供」のリンクバナー(網掛け白文字)を設置 |
| 提供形式 | ページ内のテキスト・エクセル・PDF |
| 検索について | 各検索エンジンに「東洋医療専門学校 情報提供」を入力確定でページに移動可 |

授業科目等の概要

| (医療専門課程鍼灸師学科夜間部) 令和3年度 | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|------|------|---|---------------------------------------|-----------------|-------|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実支 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| ○ | | | 生物学 Biology | 解剖学・生理学の基礎となる、生命現象の基礎を学ぶ | 1 1学期 2学期 | 48 | 3 | ○ | | | ○ | | | |
| ○ | | | コミュニケーション学 Communication Studies | コミュニケーションの基礎・技法・心理、および社会的コミュニケーションを学ぶ | 1 1学期 2学期 | 48 | 3 | ○ | | | ○ | | ○ | ○ |
| ○ | | | 外国語① Foreign Language ① | 医学英語の習得とともに、英語による患者とのコミュニケーション方法を学ぶ。 | 1 2学期 3学期 | 48 | 3 | ○ | | | ○ | | ○ | |
| ○ | | | 外国語② Foreign Language ② | 中国語の読み書き、会話、および中国の文化などを学ぶ。 | 2 2学期 | 24 | 1 | ○ | | | ○ | | ○ | |
| ○ | | | 保健体育 Health and Physical Education | スポーツマッサージ、スポーツ傷害の発生・予防法などを学ぶ。 | 3 1学期 2学期 | 48 | 3 | ○ | | | ○ | | ○ | ○ |
| ○ | | | マネジメント学 Management Studies | 鍼灸院開業に際して必要な知識、想定される諸問題の解決方法を学ぶ。 | 3 2学期 | 24 | 1 | ○ | | | ○ | | ○ | |
| ○ | | | 自然療法概説 Outline of Naturopathy | 芳香療法（アロマセラピー）について学ぶ。 | 1 1学期 | 24 | 1 | ○ | | | ○ | | ○ | ○ |
| ○ | | | 解剖学① Anatomy ① | 人体の構造を中心とした基礎的内容を学ぶ。 | 1 通 | 72 | 4 | ○ | | | ○ | | ○ | |
| ○ | | | 解剖学② Anatomy ② | 人体の構造を中心とした基礎的内容を学ぶ。 | 1 通 | 72 | 4 | ○ | | | ○ | | ○ | ○ |
| ○ | | | 生理学① Physiology ① | 人体の機能を中心とした基礎的内容を学ぶ。 | 1 通 | 72 | 4 | ○ | | | ○ | | ○ | |
| ○ | | | 生理学② Physiology ② | 人体の機能を中心とした基礎的内容を学ぶ。 | 1 通 | 72 | 4 | ○ | | | ○ | | ○ | |
| ○ | | | 解剖生理学 Anatomy and Physiology | 人体の構造と機能を総合的に学ぶ。 | 2 通 | 72 | 4 | ○ | | | ○ | | ○ | ○ |
| ○ | | | 病理学概論 Outline of Pathology | 疾病の原因、病理学像などの基礎的内容を学ぶ。 | 2 1学期 2学期 | 48 | 3 | ○ | | | ○ | | ○ | |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|--------------------------------------|-------------------------|----|---|---|--|--|--|---|---|---|---|
| ○ | | 臨床医学総論 ① Clinical Medicine in General ① | 主に西洋医学的な立場から疾病の診断方法などを学ぶ。 | 2 通 | 72 | 4 | ○ | | | | ○ | ○ | | |
| ○ | | 臨床医学総論 ② Clinical Medicine in General ② | 主に西洋医学的な立場から疾病の診断方法などを学ぶ。 | 3 通 | 72 | 4 | ○ | | | | ○ | ○ | | |
| ○ | | 臨床医学各論 ① Clinical Medicine Part ① | 主に西洋医学的な立場から疾病の診断方法などを学ぶ。 | 2 通 | 72 | 4 | ○ | | | | ○ | ○ | | |
| ○ | | 臨床医学各論 ② Clinical Medicine Part ② | 主に西洋医学的な立場から疾病の診断方法などを学ぶ。 | 2 3学 期 | 24 | 1 | ○ | | | | ○ | ○ | | |
| ○ | | 臨床医学各論 ③ Clinical Medicine Part ③ | 主に西洋医学的な立場から疾病の診断方法などを学ぶ。 | 3 1学 期 2学 期 | 48 | 3 | ○ | | | | ○ | ○ | | |
| ○ | | リハビリテー ション 医学① Rehabilitation Medicine ① | リハビリテーションの概念、方法、対象疾患毎の具体的ケアなどについて学ぶ。 | 2 3学 期 | 24 | 1 | ○ | | | | ○ | | ○ | ○ |
| ○ | | リハビリテー ション 医学② Rehabilitation Medicine ② | リハビリテーションの概念、方法、対象疾患毎の具体的ケアなどについて学ぶ。 | 3 通 | 72 | 4 | ○ | | | | ○ | | ○ | ○ |
| ○ | | 医療概論 Outline of Medicine | 医学の本質、医学の発達、医療従事者の倫理、およびあはき史などを学ぶ。 | 1 3学 期 | 24 | 1 | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ○ | | 衛生学公衆衛 生学① Hygiene and Public Health① | 健康や保健に関する問題を学ぶ。 | 1 3学 期 | 24 | 1 | ○ | | | | ○ | ○ | | |
| ○ | | 衛生学公衆衛 生学② Hygiene and Public Health② | 健康や保健に関する問題を学ぶ。 | 2 1学 期 | 24 | 1 | ○ | | | | ○ | ○ | | |
| ○ | | 東洋医学概論 ① Outline of Oriental Medicine ① | 自然観、疾病の原因、病理学像等の東洋医学的な基礎理論を学ぶ。 | 1 2学 期 3学 期 | 48 | 3 | ○ | | | | ○ | | ○ | ○ |
| ○ | | 東洋医学概論 ② Outline of Oriental Medicine ② | 自然観、疾病の原因、病理学像等の東洋医学的な基礎理論を学ぶ。 | 2 1学 期 2学 期 | 48 | 3 | ○ | | | | ○ | | ○ | ○ |
| ○ | | はりきゅう理 論① Scientific Foundation of Acupuncture ① | 鍼灸の治効理論、生体への効果などを学ぶ。 | 1 1学 期 | 24 | 1 | ○ | | | | ○ | ○ | | |
| ○ | | はりきゅう理 論② Scientific Foundation of Acupuncture ② | 鍼灸の治効理論、生体への効果などを学ぶ。 | 2 2学 期 3学 期 | 48 | 3 | ○ | | | | ○ | ○ | | |
| ○ | | 経絡経穴概論 ① Outline of the Meridians and Acupuncture ① | 経絡・経穴の概念、位置、機能などを学ぶ。 | 1 通 | 72 | 4 | ○ | | | | ○ | | ○ | ○ |
| ○ | | 経絡経穴概論 ② Outline of the Meridians and Acupuncture ② | 経絡・経穴の概念、位置、機能などを学ぶ。 | 2 1学 期 | 24 | 1 | ○ | | | | ○ | | ○ | ○ |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|---|-------------------------|-----|---|---|--|--|---|---|--|--|---|---|---|-------|
| ○ | | 東洋医学臨床 論① Clinical Oriental Medicine① | 主に東洋医学的な立場から疾病の診断、治療方法などを学ぶ。 | 2 通 | 76 | 5 | ○ | | | | ○ | | | ○ | | | |
| ○ | | 東洋医学臨床 論② Clinical Oriental Medicine② | 主に東洋医学的な立場から疾病の診断、治療方法などを学ぶ。 | 2 2学 期 3学 期 | 48 | 3 | ○ | | | | ○ | | | ○ | | | |
| ○ | | 東洋医学臨床 論③ Clinical Oriental Medicine③ | 主に東洋医学的な立場から疾病の診断、治療方法などを学ぶ。 | 3 1学 期 | 24 | 1 | ○ | | | | ○ | | | ○ | | | |
| ○ | | 関係法規 Legal Issues in Medicine | あはき法など、鍼灸師に関連する法規 について学ぶ。 | 3 1学 期 2学 期 | 48 | 3 | ○ | | | | ○ | | | ○ | | | |
| ○ | | はりきゅう実 技① Practice of Acupunctureand Moxibustion ① | 鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師 として最も基本となる技術や施術法を 習得する。 | 1 通 | 72 | 2 | | | | ○ | | | | ○ | | | ○ ○ |
| ○ | | はりきゅう実 技② Practice of Acupunctureand Moxibustion ② | 鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師 として最も基本となる技術や施術法を 習得する。 | 1 通 | 72 | 2 | | | | ○ | | | | ○ | | | ○ ○ |
| ○ | | はりきゅう実 技③ Practice of Acupunctureand Moxibustion ③ | 鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師 として最も基本となる技術や施術法を 習得する。 | 1 通 | 72 | 2 | | | | ○ | | | | ○ | | | ○ ○ |
| ○ | | はりきゅう実 技④ Practice of Acupunctureand Moxibustion ④ | 鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師 として最も基本となる技術や施術法を 習得する。 | 2 通 | 72 | 2 | | | | ○ | | | | ○ | | | ○ ○ |
| ○ | | はりきゅう実 技⑤ Practice of Acupunctureand Moxibustion ⑤ | 鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師 として最も基本となる技術や施術法を 習得する。 | 2 通 | 72 | 2 | | | | ○ | | | | ○ | | | ○ ○ |
| ○ | | はりきゅう実 技⑥ Practice of Acupunctureand Moxibustion ⑥ | 鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師 として最も基本となる技術や施術法を 習得する。 | 2 通 | 72 | 2 | | | | ○ | | | | ○ | | | ○ ○ |
| ○ | | はりきゅう実 技⑦ Practice of Acupunctureand Moxibustion ⑦ | 鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師 として最も基本となる技術や施術法を 習得する。 | 3 通 | 72 | 2 | | | | ○ | | | | ○ | | | ○ ○ ○ |
| ○ | | はりきゅう実 技⑧ Practice of Acupunctureand Moxibustion ⑧ | 鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師 として最も基本となる技術や施術法を 習得する。 | 3 通 | 72 | 2 | | | | ○ | | | | ○ | | | ○ ○ |
| ○ | | はりきゅう実 技⑨ Practice of Acupunctureand Moxibustion ⑨ | 鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師 として最も基本となる技術や施術法を 習得する。 | 3 通 | 72 | 2 | | | | ○ | | | | ○ | | | ○ ○ |
| ○ | | 臨床実習① Clinical Education ① | 患者への施術を通し、卒業後の臨床現場を想定した諸問題の解 決方法を学ぶ。 | 2 通 | 90 | 2 | | | | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | ○ ○ |
| ○ | | 臨床実習② Clinical Education ② | 患者への施術を通し、卒業後の臨床現場を想定した諸問題の解 決方法を学ぶ。 | 3 通 | 136 | 3 | | | | ○ | | | | ○ | | | ○ ○ |
| ○ | | 総合領域① Synthetic Studies ① | 国家試験や卒後に役立つさまざまな知識・技術について幅広く 学ぶ。 | 3 通 | 72 | 4 | ○ | | | | | | | ○ | | | ○ |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|--|---------------------------------|---------------------------------|----------|----|----|-----------------|--|--|---|---|--|--|
| ○ | | 総合領域② Synthetic Studies ② | 国家試験や卒後に役立つさまざまな知識・技術について幅広く学ぶ。 | 3 通 | 72 | 4 | ○ | | | ○ | ○ | | |
| ○ | | 総合領域③ Synthetic Studies ③ | 国家試験や卒後に役立つさまざまな知識・技術について幅広く学ぶ。 | 3 3学期 | 24 | 1 | ○ | | | ○ | ○ | | |
| ○ | | 総合領域④ Synthetic Studies ④ | 国家試験や卒後に役立つさまざまな知識・技術について幅広く学ぶ。 | 3 3学期 | 24 | 1 | ○ | | | ○ | ○ | | |
| ○ | | 総合領域⑤ Synthetic Studies ⑤ | 国家試験や卒後に役立つさまざまな知識・技術について幅広く学ぶ。 | 3 3学期 | 24 | 1 | ○ | | | ○ | ○ | | |
| ○ | | 総合領域⑥ Synthetic Studies ⑥ | 国家試験や卒後に役立つさまざまな知識・技術について幅広く学ぶ。 | 3 3学期 | 24 | 1 | ○ | | | ○ | ○ | | |
| 合計 | | | | | 50 | 科目 | 2656単位時間(123単位) | | | | | | |

| 卒業要件及び履修方法 | | 授業期間等 | |
|--|----------|--------|--|
| 学年を通じて所定の授業時間数の3分の2以上出席、各講義科目の75%、実技科目の80%以上出席し、さらに各教科の期末試験で100点満点中60点以上の点数を取ったもの。 | 1学年の学期区分 | 123学期 | |
| | 1学期の授業期間 | 約295時間 | |

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。